基本知識・能力試す内容に

総合資格が1級建築士設計製図試験分析

総合資格（新宿区、岸隆司社長）は、2010年度1級建築士設計製図試験の分析結果をまとめ明らかにした。

本年度の課題も、昨年度からの試験制度の「見直し」方針から「建築設計を調整し、取りまとめていく基本的知識・能力」を試す内容がより鮮明に表れた試験だった。

具体的には、大半の受験生が答案を完成させる事のできる比較的自由度の高い課題構成で、「受験生の力量を様々な切り口から評価する」ような意図が随所に見られ、しっかりした建築的知識も必要とされた。

そのため、描き上げることはもとより、条件を満たした「図面」と「計画の要点」を整合性を保った上で表現できているかがポイントとなる。

「計画の要点」の記述においては、より具体的な要求となり、受験生それぞれのプランに合わせ、整合のとれた記述が必要となった。丸暗記の試験対策では対応が難しく、設計者としての真の実力が試される試験であったと言える。

【施設概要】この課題は、ある小都市の市街地の公園の一角に建つ市立美術館を計画するものである。

本施設は、地元出身の画家の作品の常設展示を行うとともに、企画展示や地域住民の美術活動発表の場となる展示スペースを設けるものとする。

【施設規模・構造】階数＝地上2階建、構造＝鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又はこれらの併用。床面積＝1800平方㍍以上、2200平方㍍以下

【設備】①空調設備、給排水衛生設備、電気設備等を適切に設け環境負荷低減に配慮する②美術品に配慮した設備計画とするエレベーターを適切に設ける。

展示部門の動線・ゾーニングについては今回の出題では「展示部門は、すべて2階に計画する」および「来館者動線、職員動線及び搬入経路が交差しないような計画とする」との要求から、公開、非公開の区分（ゾーニング）や動線の良否が「空間構成」での評価に大きく影響するものと思われる。

また、「アプローチは、公園又は遊歩道からでもよい」との要求から、多くの可能性の中から一つのプランを選択するような「設計者としての考え方」を試すような試みもなされていた。

「構造計画」の構造については「鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又はこれらの併用」とあるが、市民ギャラリーの無柱空間要求への対処の仕方が主に見られるところ。これについては「計画の要点」の記述においても、今回は「市民ギャラリー」を特定し、十分な説明を求めている。

「設備計画」の設備については、今回特に「計画の要点」の記述で、用途の異なる3つの室（常設展示室、エントランスホール、研修室）を指定し、空調方式の選択と明快な説明が求められた。

要点記述の丸暗記方式での学習を行っていた受験生には厳しい出題だったかと思われる。

まとめとして本年度試験についても前年同様、特に「図面」の仕上がりや、自身の計画と「計画の要点」における記述の整合性、細かな部分での評価が合否に影響すると思われる。

中村・土工協会長

馬淵大臣の発言「経済対策としての効果」を評価

日本土木工業協会（土工協）の中村満義会長は7日、理事会後に会見し、先月、馬淵澄夫国土交通相が就任会見の中で「必要な社会資本整備」「経済対策としての効果」「地方への再配分」の三つの観点から社会資本整備重点計画をまとめると発言したことについて、「真に必要な社会資本整備を考える場合、これらはまさに最重要なキーワードだ」との認識を示した。

さらに、「真に必要な社会資本を、どういう評価基準で推進していくか。限られた財源の中で、何が一番重要なのか。まさに喫緊の課題だ。『経済対策』との発言があったことはたいへん評価できるし、今後に期待もしている」と述べた。

中村会長は、「高速道路や新幹線、治山・治水などいずれも、国民に不利益になるものはない。プライオリティー（優先順位）の問題だけだ」と指摘。その上で、「プライオリティーについて、有識者による委員会などで判断基準を示した後は、（次の事業執行へのステップは）政治判断ということになる」と語った。

また、「われわれの受注というよりは、国民経済に与える効果を期待している。ミッシングリンクの解消をはじめ、真に必要な社会資本整備を進めた結果、そこから生み出される経済効果は、さらに大きいものになるだろう」との考えを強調した。

…第1項第3号を改正し、廃石綿などの埋立処分を行う場合、「あらかじめ固型化、薬剤による安定化その他これらに準じる措置を講じた後、耐水性の材料で二重こん包…の飛散を防止するため、廃石綿を排出する段階で薬剤固化を義務付ける。

また、埋め立て処分を行う際には、廃石綿などが埋立地の外に飛散・流出しないように、表面を…

…中間処理」を削除…使用」を経た結果、「アクアA」…採用していきた…していく方針だ。

帝国データバンク調べ　建設業の倒産

10年度上期は8.5%減

2010年度上半期（4月～9月）に倒産した建設業者の数は1584件と、前年同期に比べ8・5%減少したことが帝国データバンクのまとめで分かった。ただし、月ごとの推移を見ると、8月以降は前年同期比で増加に転じている。同社は今後の見通しについて「中小企業の資金繰り破たんが相次ぎ、年末から年度末にかけて倒産増加が続く可能性」を指摘している。

全産業の倒産件数は、前年同期比14・3%減の5751件、負債総額は6・7%増の2兆6319億円。倒産件数を主因別に見ると、販売不振、業界不振といった「不況型倒産」が4817件で、過去最高の構成比83・8%を占めた。規模別では、負債総額が大きい倒産が軒並み大幅に減少したのに対し、負債総額5000万円未満の倒産は微減（1・7%減）にとどまった。

地域別では、全地域で前年同期を下回り、特に北陸（24・7%減）、四国（24・5%減）などの減少ぶりが目立った。

不動産業の倒産件数は24・8%減の179件と大幅に減った。

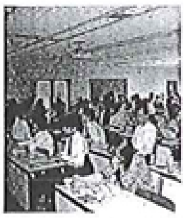
9月は31.3%増

建設業の倒産件数

帝国データバンクがまとめた9月の全国企業倒産集計によると、建設業の倒産件数は前年同月に比べ31・3%増の285件と大幅に増加した。一方、不動産業は6・1%減の31件と減少傾向を示した。

産業全体の件数は、前年同月比0・3%減の943件、負債総額は282・8%増の1兆3705億9800万円。負債総額の増加は日本振興銀行の民事再生法申請が要因。

主因別では、販売不振や業界不振といった「不況型倒産」が1・8%増の788件。地域別では、関東、中部、近畿、四国を除く5地域で増加傾向を示し、特に北海道（45%増）、九州（18・5%増）などが大幅に増加した。



…排出事業者責任の強化、徹底や廃棄物処理業の優良化推進など改正の内容と方向性に対し、相次いで質問が寄せられるなど…

…ジャパン（港区）は、6日から3日間にわたって東京ビッグサイトで開かれたアスベスト&環境リスク対策展に出展した。多くの来場者がブースを訪ね関心を寄せていた＝写真。

同社が出展したのは、アスベスト処理剤の「AGUA-A3000」とアスベスト圧縮固化工法の「A・S・S工法」。処理剤は100%無機・水性で、封じ込めや除去、あらゆるアスベスト含有…より、運搬中や最終処分場で袋が破損しても飛散の危険性を大幅に低減する。運搬、廃棄コストも削減可能。工法としても特許申請中。

◇問い合わせ先＝電話03（3504）1965

震災・防災対策解析ソフトを紹介

フォーラムエイトが危機管理産業展で

フォーラムエイト（目黒区上目黒2ノ1ノ1）は、「フォーラムエイトのリスク管理ソリューション」をテーマに、6日から8日まで東京ビッグサイトで開かれた危機管理産業展にブースを出展した。震災・防災対策解析ソフトとVRシステムを連携して解析結果を可視化する技術を紹介した＝写真。

ブースでは、氾濫浸水や津波解析、火災・避難解析のソフトを使ってのVRモデリングや、3Dデジタルシティを構築しての耐震・防災ソリューション、構造物の設計リスクマネジメント、監視カメラシステムを使ってのシミュレーションソフトなどを紹介した。

問い合わせは東京本社　電話03（5773）1888。

2010年10月13日　建通新聞

建築士法に基づく建築士定期講習

東京は11月26日

ビューローベリタスジャパン（横浜市中区山下町1）は、民間確認検査…る「建…築士定…日から…浜の3…込みを…士定期…属する…年ごと…務付…は、①…士法、…最近の…技術、…理の実…事故事…ならびにこれらを踏まえた職業倫理④その他設計および工事監理に関する必要事項⑤終了考査－など。

開催概要は次の通り（各会場とも定員になり次第締切）。

【日時・場所】▽11月26日（金）＝東京会場（LMJジャパン東京研修センター、文京区本郷1ノ11ノ14、定員70人）▽12月3日（金）＝名古屋会場（名古屋会議室栄現場通栄店・名古屋市中区錦3ノ23ノ6宝塚ビル5F、定員30人）▽12月10日（金）＝横浜会場（シルクビル　横浜市中区山下町1、定員15人）

【開催時間】▽3会場とも午前9時10分受付開始、9時30分から午後5時40分まで

【受講料】1級・2級とも1万2000円（テキスト代および消費税を含む）。

【申し込み方法】同社ホームページ（http://www.bvjc.com/）から受講申請書をダウンロードし、必要事項を記入し「建築士定期講習事務局」にメール（E－mail：esdarchi.yok@jp.bureauveritas.com）で申し込む。

問い合わせは、同社エデュケーションサービス部　電話045（664）3831まで。

28日に千葉市で開催

ATS協議会が大規模修繕の研修会・見学会

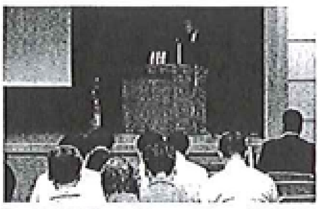
ATS協議会（荒金勝一会長）は、10月28日に千葉市で大規模修繕工事の研修会・見学会を開催する。

時間は午後1時30分から4時30分。会場は千葉市稲毛区長沼原町317ノ1の「ヴィルフォーレ稲毛団地」建設現場。内容は躯体改修や試験施工実演を見学し、躯体不具合の直し方の勘どころや補修材料について学ぶ。定員50人。10月22日まで参加申し込みを受け付けている。

申し込みは事務局　電話03（3663）8495。

杉並建協など建設技術研修会

赤外線外壁調査を解説



杉並建設業協会（佐藤時也会長）と東京商工会議所杉並支部建設分科会（渡辺博司会長）は7日、杉並区立産業商工会館で「建設技術研修会」を開いた＝写真。

研修会では、「New ビジネスのチャンス到来!!」と題して、建築基準法第12条改正に基づく特殊建築物等定期調査報告に対応した高精度赤外線外壁調査について解説した。

ティ・エス・プランニングの佐藤智社長が、建築基準法第12条改正に伴う建築業の役割について講義した。

また、日立電子サービスの佐々木秀樹チーフエンジニアが、全面打診調査と赤外線調査のそれぞれの長所や短所、注意点のほか、赤外線調査のメカニズムや一連の作業の流れなどを説明した。

さらに、中央商事設備サービス本部の中石光彦氏が、赤外線による外壁調査の精度について、事例を交えながら解説した。

イベント

■TRD工法／TRDT…基調講演と…適用事例につ…技術研究所工…おける近接施…間は午後1時…ファレンスセ…大手町1ノ1…問い合わせは、…

■「ゆとりあ…／ゆとりあ…国民推進会…推進会議…「低炭素社…術と、住まう…をテーマにセ…で構成する。…士の月尾嘉男…5時。会場は…田区丸の内3…電話03（3…

インフォマティクス

オートデスクのナビスワークスに取り込…

インフォマティクス（川崎市）は、…eye M…タfor ナビス…＝写真＝を…